

件 名	ＥＶ・水素社会の実現に向けたインフラ整備の推進について
受付日	令和８年６月２日
ご意見・ご提案の概要	岐阜県には自動車は欠かせないが石油やガソリンの価格が上昇している。 水素ステーションなどのインフラ施設や企業への補助制度を設けたり、新たに岐阜県内の各道の駅等にも電気自動車（ＥＶ）の充電設備を新設するなどして、県内で水素を燃料とする自動車（ＦＣＶ）やＥＶの普及を促してほしい。
県の考え方	県内におけるＦＣＶやＥＶの普及促進に向けたインフラ整備等については、これまで普及啓発や国と協調した補助金による支援等を行ってきました。 この結果、水素ステーションについては、県内に合計６箇所、各圏域（岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨）に１箇所以上が整備されています。 また、ＥＶの充電設備も令和６年度時点で、県内に２,１７８設備が整備（※）されており、多くの道の駅にも設置されています。 こうした状況等を踏まえ、現在、県独自の補助金による支援は行っていないませんが、引き続き県が所有するＦＣＶの、イベントや購入を検討している企業等への貸出、国の補助金の周知等に取り組んでまいります。 ※（一社）次世代自動車振興センターの補助金交付実績のうち急速・普通充電の累計
担当課	環境エネルギー生活部 省エネ・再エネ社会推進課